

2006年7月20日
ダイキン工業株式会社
広報部

<ダイキン「第9回 現代人の空気感調査」>
小学生 200名に聞いた「子どもと夏の空気に関する調査」結果発表

『猛暑でも、子どもはやっぱり“外”が好き』

～遊ぶのは“外”、勉強するのは“家”が一番、自己流クールビズは「アイスを食べる」?～

ダイキン工業株式会社（本社：大阪市）では、首都圏と関西圏の小学生 200名（5～6年生）を対象に「夏の空気環境」についてアンケートを実施しました。

「暑苦しい」「蒸し暑い」「うだるような暑さ」などの言葉に代表されるように、夏は空気に対する意識が高まり、社会的にも、クールビズや熱中症対策といった様々な暑さ対策がなされる季節です。“大人の世界”では暑さは克服すべきものですが、“子どもの世界”ではどうでしょうか。

この調査は、ますます厳しくなる夏の空気環境を、子どもたちがどのように捉え、その中でどのように過ごしているのかを調査した結果、意外に遅しく夏を過ごしている小学生の夏の空気に対する意識が浮き彫りになりました。

～「子どもと夏の空気に関する調査」 主な結果～

（ ）は報告書での頁数

- I. 小学生の6割がアウトドア派、インドア派は暑さが苦手-----3P (14P)**
◆現代の子どもの6割は、室内よりも「外で遊ぶ方が好き」(62%)
◆夏が好きほど、外で遊びたがる傾向が顕著 (3P)
インドア派は、室内遊びが好きというよりも暑さが苦手
◆夏のニオイや日焼けに対する小学生女子の意識は東高西低 (21P)
- II. 夏に「空気がおいしい」と感じるのは、“自然”の空気に触れたとき-----5P (31P)**
◆最も空気のおいしさを実感するのは「山に行った、頂上まで登った」(36件)とき
◆次いで「田舎のおじいちゃん、おばあちゃんの家」(24件)「キャンプ」(21件)
「海」(17件)と、“自然”に身を置いたときに空気のおいしさを体感している
- III. 夏の学校は暑くてたまらない!?-----6P (23,26P)**
◆季節を問わず、9割の子どもが家の方が過ごしやすいと回答(90.5%)
◆他の季節との比較で、夏に勉強がしにくいと感じるのは「学校の教室」
- IV. 小学生も夏はなかなか寝付けない!-----7P (5,17P)**
◆1年のうちで最も眠れない季節は、やはり「夏」(67%)
◆睡眠不足で「勉強に集中できない」子どもが7割(71%)
- V. 小学生がクールビズをイメージした暑さ対策-----9P (29P)**
◆クールビズの名称と内容まで理解している小学生は3割(30%)
◆自己流クールビズ、暑さ対策第1位は「アイスや冷たいものを食べる」(75.5%)

【調査概要】

1. 調査対象及びサンプル数：首都圏と関西圏の小学5年生と6年生の男子・女子、200人

<サンプル配分>

	合 計	5 年 生		6 年 生	
		男子	女子	男子	女子
合 計	200	50	50	50	50
首都圏	100	25	25	25	25
関西圏	100	25	25	25	25

首都圏：東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県

関西圏：大阪府・京都府・兵庫県

2. 調査方法：訪問留置法 ※調査員が調査票を持参し、回答いただいたものを後日回収にいく方法

3. 調査時期：2006年6月12日（月）～6月23日（金）

【ダイキン工業の空気感調査】

ダイキン工業は、“空気”にこだわり、また空調の技術を進化させてきた空調のトップメーカーとして、日頃あまり意識されてこなかった“空気”について、もっと多くの方々に関心を持っていただきたいと考え、2002年から“空気”に関する現代人の意識を探るための「現代人の空気感調査」を実施してきました。今回の調査は、その9回目となります。

<これまでの主な調査内容> ()内は発表日

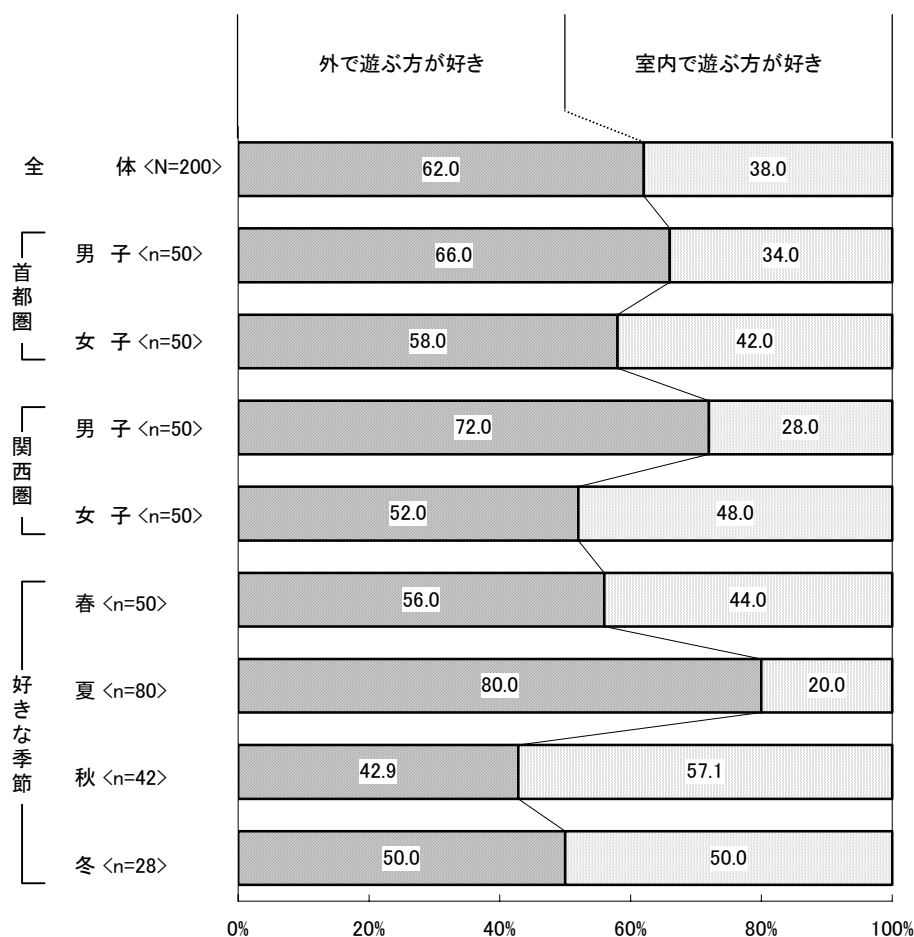
- 第1回 1万人アンケート「心地よい空気の3大理想郷」(02年6月17日)
- 第2回 日本人の「空気・水・安全<3大無料(タダ)モノ>」(02年12月2日)
- 第3回 主婦に聞いた「夏の睡眠と空気」(03年7月22日)
- 第4回 主婦に聞いた「冬の部屋の空気と風邪対策」(03年11月27日)
- 第5回 ビジネスパーソンに聞いた「健康増進法施行1年後の空気」(04年4月8日)
- 第6回 ビジネスパーソンに聞いた「冬のオフィスの空気」(04年12月7日)
- 第7回 ビジネスパーソンに聞いた「クールビズにみる夏のオフィス空気」(05年7月5日)
- 第8回 全国の主婦に聞いた「家庭内における冬の空気環境とウォームビズへの取り組み」(06年1月11日)

I. 小学生の6割がアウトドア派、インドア派は暑さが苦手

- ◆現代の子どもの6割は、室内よりも「外で遊ぶ方が好き」(62%)
- ◆好きな季節のトップは夏(40%)、以下、春(25%)、秋(21%)、冬(14%)
夏が好きほど、外で遊びたがる傾向。「汗をかいて身体を思いっきり動かしたい」
- ◆女子よりも男子が外で遊ぶ。女子は夏のニオイや日焼けに対する意識が高く、その傾向は東高西低

子どもたちに、「屋外で遊ぶのと室内で遊ぶのとではどちらが好きか」と聞いてみたところ、6割以上が「外で遊ぶ方が好き」(62%)と回答し、「室内で遊ぶ方が好き」(38%)を上回りました。関西圏の男子は、「外で遊ぶ方が好き」(72%)が7割を超え、とりわけ多くなっています。性別で見ると、首都圏・関西圏ともに「外で遊ぶ方が好き」は、男子(66%・72%)が女子(58%・52%)を上回っています。

図1. 夏、屋外で遊ぶのと室内で遊ぶのではどちらが好きか



地域/性別に見ると、【関西圏/男子】は「外で遊ぶ方が好き」(72.0%)が7割を超え、とりわけ多くなっています。さらに、性別で見ると、<首都圏><関西圏>ともに「外で遊ぶ方が好き」は【男子】(66.0%、72.0%)が【女子】(58.0%、52.0%)を上回っています。

好きな季節を聞くと、夏(40%)が最も人気があり、以下、春(25%)、秋(21%)、冬(14%)の結果になりました。また、「夏が好き」と回答した子どもの8割は、「屋外が好き」(80%)と大半を占めています。しかし、「春が好きの子」(56%)や「冬が好きの子」(50%)は、「室内で遊ぶ方が好き」とほぼ二分されていますが、「秋が好きの子」(42.9%)は、「室内で遊ぶ方が好き」(57.1%)を上回りました。

＜屋外＞で遊ぶのが好きな理由

順位	回答内容	人数
1	外で思いっきり体を動かして遊ぶ方が楽しい	22
2	プールで遊べる	21
3	外で汗をかいて遊ぶ方が気持ちがいい	12
〃	外の方がいろいろな遊びができる	12
5	サッカーができる	9

＜室内＞で遊ぶのが好きな理由

順位	回答内容	人数
1	外は暑いから	25
2	室内の方が涼しいから	14
3	室内はエアコンがきいていて涼しいから	9
〃	ゲームをしたいから	9
5	外で遊ぶと日射病になるから	3
〃	外で遊ぶと日焼けするから	3

＜室内＞で遊ぶのが好きなインドア派の子どもは、室内遊びが好きというよりも、暑さが苦手といえるでしょう。

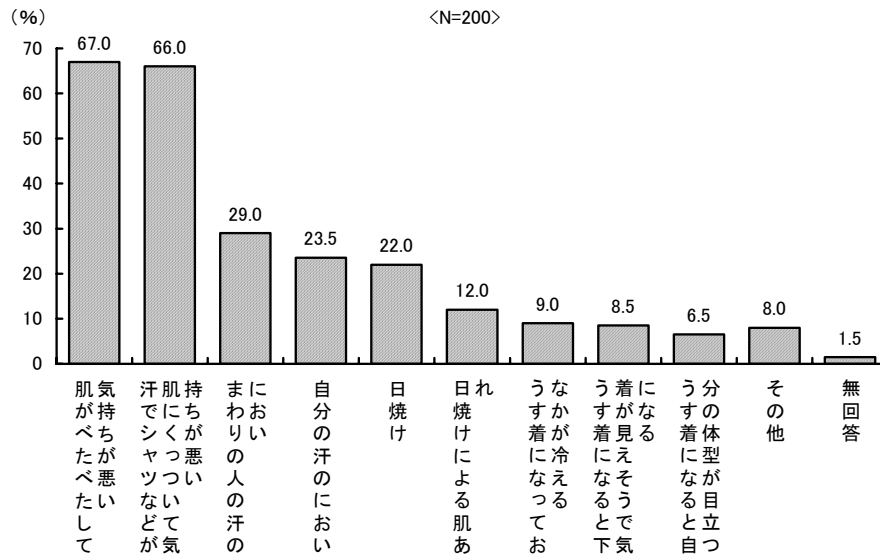
さらに、夏の時期はどんなことを不快に感じるかを聞きました。

最も多いのは「肌がべたべたして気持ちが悪い」(67.0%)で、ほぼ同じ割合で「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」(66.0%)が続いています。以下、「周りの人の汗の匂い」(29.0%)、「自分の汗の匂い」(23.5%)、「日焼け」(22.0%)が2割強で続いています。

地域／性別に見ると、【首都圏／女子】は「汗でシャツなどが肌にくっついて気持ちが悪い」(76.0%)、「肌がべたべたして気持ちが悪い」(70.0%)、「周りの人の汗の匂い」(46.0%)、「日焼け」(40.0%)、「自分の汗の匂い」(38.0%)、「日焼けによる肌荒れ」(20.0%)と、上位項目はすべて他の層を大きく上回っています。また、【女子】は【関西圏】【首都圏】ともに「薄着になると下着が見えそうで気になる」(14.0%、12.0%)、「薄着になると自分の体型が目立つ」(12.0%、10.0%)が【男子】をわずかずつ上回っています。

汗のニオイや日焼けに対する小学生女子の意識は、東高西低の傾向があるといえます。

図2. 夏不快に感じること



調査項目	性別・年齢	不快の原因 (%)										
		肌気が持たれた	汗で肌がシクシクする	まわりの人の汗が臭い	自分の汗が臭い	日焼け	日焼けによる肌あれ	うす着に冷える	うす着に見える	うす着になる	分体型が目立つ	その他
首都圏	男子 <n=50>	66.0	56.0	14.0	12.0	14.0	12.0	8.0	6.0	-	10.0	-
	女子 <n=50>	70.0	76.0	46.0	38.0	40.0	20.0	10.0	12.0	10.0	6.0	2.0
関西圏	男子 <n=50>	66.0	64.0	26.0	22.0	10.0	10.0	8.0	2.0	4.0	6.0	4.0
	女子 <n=50>	66.0	68.0	30.0	22.0	24.0	6.0	10.0	14.0	12.0	10.0	-
好きな季節	春 <n=50>	66.0	64.0	24.0	26.0	24.0	8.0	4.0	6.0	2.0	6.0	2.0
	夏 <n=80>	63.8	61.3	28.8	25.0	18.8	15.0	6.3	8.8	6.3	10.0	2.5
	秋 <n=42>	76.2	76.2	31.0	23.8	23.8	9.5	9.5	7.1	7.1	4.8	-
	冬 <n=28>	64.3	67.9	35.7	14.3	25.0	14.3	25.0	14.3	14.3	10.7	-
好遊きな場	屋外 <n=124>	65.3	58.9	27.4	24.2	18.5	10.5	8.9	7.3	3.2	8.1	2.4
	室内 <n=76>	69.7	77.6	31.6	22.4	27.6	14.5	9.2	10.5	11.8	7.9	-

II. 夏に「空気がおいしい」と感じるのは、“自然”の空気に触れたとき

- ◆最も空気のおいしさを実感するのは「山に行った、頂上まで登った」(36件)とき
- ◆次いで「田舎のおじいちゃん、おばあちゃんの家」(24件)「キャンプ」(21件)「海」(17件)と、“自然”に身を置いたときに空気のおいしさを体感している

これまでに空気がおいしいと感じたのは、どんな時、どんな場所、どんな状況だったのか、空気がおいしいと感じた時の経験をあげてもらいました。

「山に行った時」(27件)「山の頂上まで登った時」(9件)といった「山」が多くあげられています。そのほか「キャンプで山に行った時」(18件)「キャンプで朝早く起きた時」(3件)などの「キャンプ」「海に行った時」(17件)「森林に行った時」(4件)また「田舎のおじいちゃん、おばあちゃんの家に行った時」(24件)など“自然に触れた時”のことが多くあげられています。

その一方で、「朝早く起きた時」(4件)「外でたくさん遊んだ後」(3件)「夕立のあと風が吹いてきた時」(2件)「夏休みの宿題を終わらせた時」(2件)「プールで潜って顔をあげた時」(4件)「プールから上がった時」(3件)「川で泳いで顔をあげた時」(2件)「散歩」、「芝生に寝転んでいる時」などがあげられています。特別に改まった所ではなく、何気ない日常生活の様々な場面でも子どもたちは空気がおいしいと感じているようです。

Ⅲ. 夏の学校は暑くてたまらない！？

- ◆ 季節を問わず、9割の子どもが家の方が過ごしやすいと回答（90.5%）
- ◆ 他の季節との比較で、夏に勉強がしにくいと感じるのは「学校の教室」

夏の空気環境という観点で『家と学校の教室ではどちらが快適か』と質問すると、9割が「家の方が過ごしやすい」（90.5%）と答え、「学校の教室の方が過ごしやすい」（9.5%）は、1割弱にとどまっています。いずれの属性で見ても「家の方が過ごしやすい」が9割前後を占めており、ほぼ同様の結果となっています。

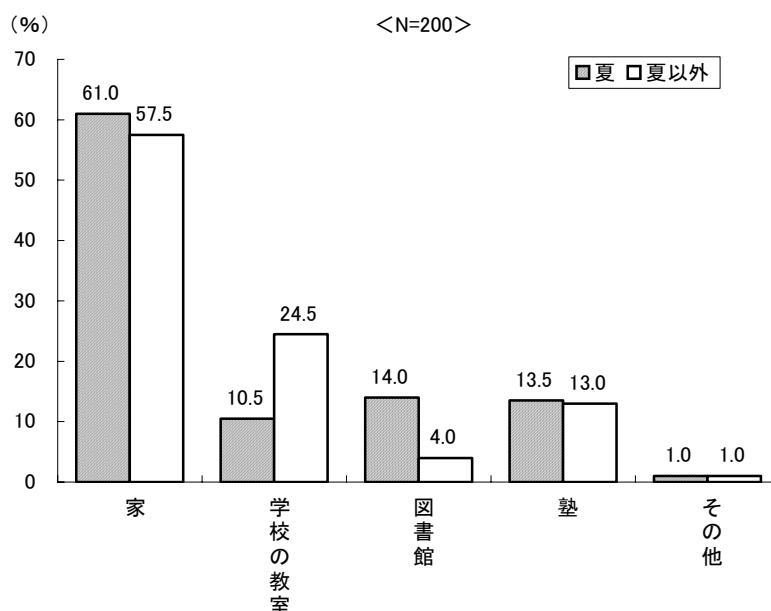
<家>の方が快適だと思う理由

順位	回答内容	人数
1	家はエアコンが効いていて涼しい	74
2	家は風通しがよい	21
3	家の方が涼しい	19
4	家はエアコンの温度を自分で調節できる	16
5	学校は人がたくさんいるので暑い	11

<学校の教室>の方が快適だと思う理由

順位	回答内容	人数
1	風通しがよい	5
2	自然の風が入ってくる	3
〃	廊下から涼しい風が入ってくる	3
〃	窓が多く風通しがよい	3
5	扇風機があるから風の通りがよい	2

図3. 夏と夏以外の季節に最も勉強しやすい場所



空気環境の面で『最も勉強しやすい場所はどこか』を、夏と、夏以外の季節それぞれについて聞きました。いずれの季節でも「家」が最も多くなっていますが、その割合は<夏>（61%）が特に多く、<夏以外の季節>（57.5%）を上回っています。

＜家＞が最も勉強しやすいと思う理由

順位	回答内容	人数
1	エアコンが効いていて涼しい	38
2	エアコンの温度を自分で設定できる	24
3	涼しい	18
4	風通しがよい	8
5	扇風機がある	3
〃	エアコンや扇風機がある	3

また、＜図書館＞＜塾＞も勉強しやすい理由として「冷房が効いている」「快適な温度である」が多くあげられていますが、＜塾＞ではさらに「冷房の温度調節ができる」「エアコンの温度調節をしてくれる」といった“エアコンの温度が設定できる”もあげられています。

これらの場所は、いずれも“エアコン”に関連する内容が多くを占めていますが、＜家＞や＜塾＞は、自分にちょうどよい温度に容易に設定できることも大きな利点のようです。

一方、＜学校の教室＞が最も勉強しやすい理由は「涼しい風が入る」がほとんどです。また、「学校の教室」は、＜夏以外の季節＞（24.5%）が2割を超え＜夏＞（10.5%）は1割にとどまり、「図書館」（14%）や「塾」（13.5%）を下回って最も少なくなっています。他の季節と比較すると、夏に最も勉強しにくいと感じているのは「学校の教室」といえるでしょう。

IV. 小学生も夏はなかなか寝付けない！

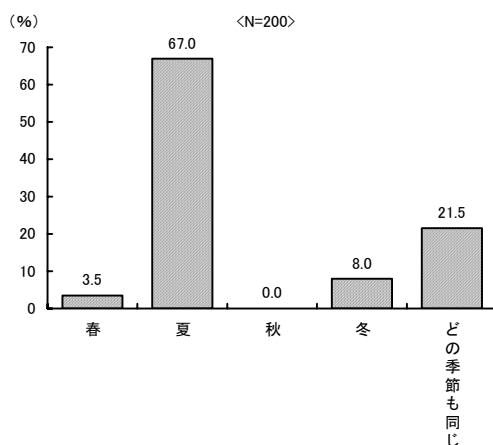
-
- ◆ 1年のうちで最も眠れない季節は、やはり「夏」（67%）
 - ◆ 睡眠不足で「勉強に集中できない」子どもが7割（71%）
-

『1年のうちで最も夜眠れない季節は』と聞いてみたところ、「夏」（67%）が圧倒的に多く、「冬」（8%）や「春」（3.5%）はごくわずかずつあげられているだけで、「秋」（0%）は、まったくありません。“夏の夜の寝苦しき”は、大人も子どもも共通のようです。なお、「どの季節も同じくらい」（21.5%）は、2割強となっています。

では、その季節がどうして眠れないのか、眠れない理由を聞きました。眠れない理由を季節ごとに整理すると以下ようになります。

＜夏＞が最も眠れない理由として、「暑い」（87件）、「暑くて汗をかく」（20件）、「暑くてのどがかわく」（7件）、「蒸し暑い」（10件）など“気温の暑さ”が断然多くあげられています。また、「アトピーのため暑いとかゆくなる」（2件）などもあり、アレルギーのある子どもには最もつらい季節になっているようです。

図4. 1年のうちで最も夜眠れない季節

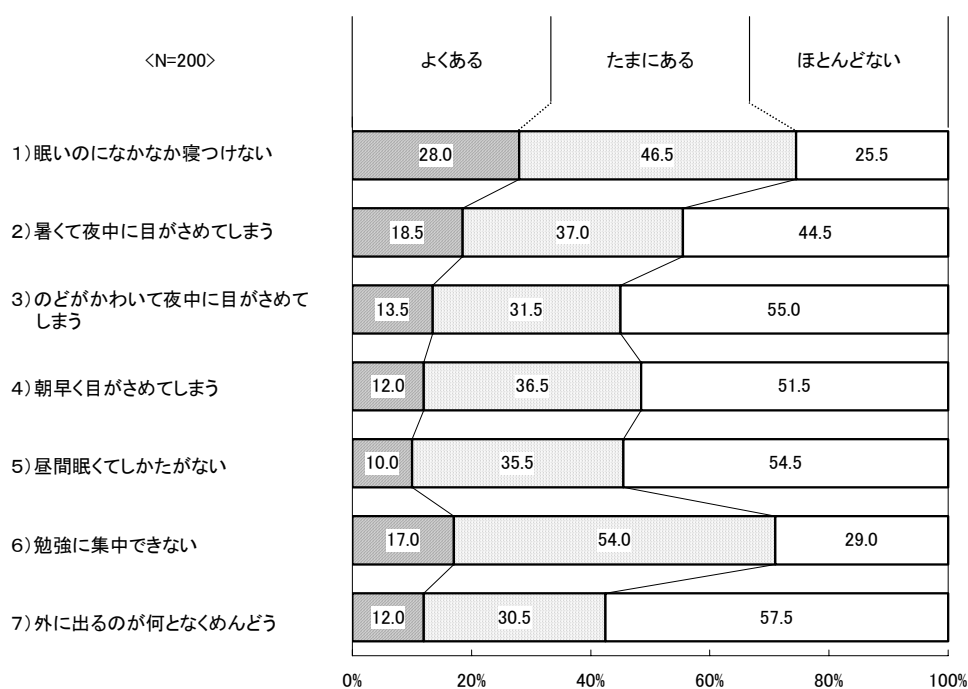


首都圏	男子 <n=50>	4.0	64.0	-	6.0	26.0
	女子 <n=50>	6.0	70.0	-	6.0	18.0
関西圏	男子 <n=50>	2.0	70.0	-	8.0	20.0
	女子 <n=50>	2.0	64.0	-	12.0	22.0
好きな季節	春 <n=50>	-	70.0	-	2.0	28.0
	夏 <n=80>	2.5	65.0	-	10.0	22.5
	秋 <n=42>	9.5	71.4	-	11.9	7.1
	冬 <n=28>	3.6	60.7	-	7.1	28.6

また、夏は暑く睡眠不足が心配されますが、子どもたちに睡眠不足や睡眠不足が原因の体調の悪さがあるのか聞きました。

「眠いのになかなか寝つけない」は<よくある> (28.0%) が他を大きく上回っており、<たまにある> (46.5%) も多くなっているなど、夏の生活のなかで最も多く、7割以上の子どもが悩まされている傾向となっています。また、「暑くて夜中に目が覚めてしまう」も<よくある> (18.5%)、<たまにある> (37.0%) とともに多くあげられています。さらに、「勉強に集中できない」は<たまにある> (54.0%) が5割を超えています。そのほかの項目も、いずれも<よくある> と<たまにある> が半分弱あげられており少なくありません。

図5. 夏の睡眠状況や体調



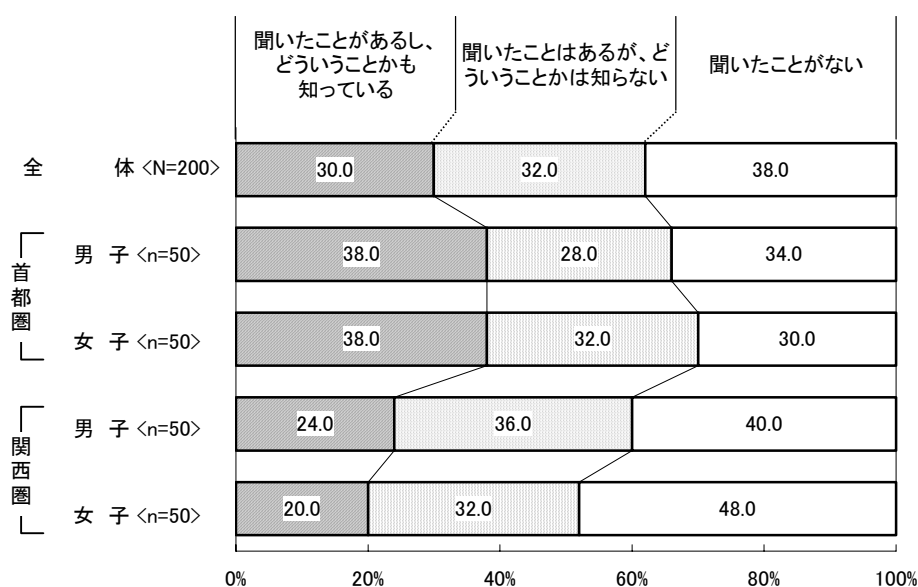
V. 小学生がクールビズをイメージした暑さ対策

- ◆クールビズの名称と内容まで理解している小学生は約3割程度（30%）
- ◆自己流クールビズ、暑さ対策第1位は、「アイスや冷たいものを食べる」（75.5%）

子どもたちに“クールビズ”を知っているか聞きました。

「聞いたことがあり、どういうことかも知っている（内容認知）」（30%）が3割、「聞いたことはあるが、どういうことかは知らない（名称認知）」（32%）が3割強を占め、認知度（62%）は6割を超えています。また、「聞いたことがない（知らない）」（38%）は、4割弱となっています。

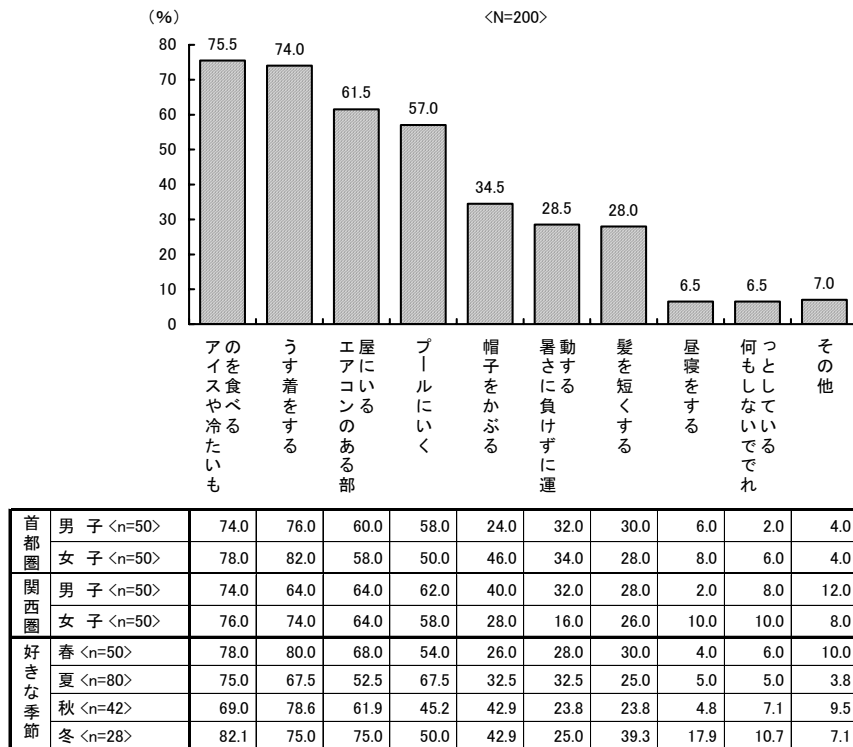
図6. クールビズの認知状況



子どもたちが行うクールビズとはどのようなものなのでしょう。“子どもにとってのクールビズ”とは何かを聞きました。

7割強が「アイスや冷たいものを食べる」（75.5%）、次に「薄着をする」（74%）が続いていますが、その一方で「エアコンのある部屋にいる」（61.5%）も6割強あげています。そのほか、「プールに行く」（57%）が6割弱。「帽子をかぶる」（34.5%）、「暑さに負けずに運動する」（28.5%）、「髪を短くする」（28%）は、それぞれ3割前後あげています。

図7. 小学生にとっての“クールビズ”とは何か



【おわりに】

今回の調査から、意外にも半数以上の小学生が、暑さをものともせず、外で元気に活動し、夏を満喫しているといった健全な現代の子どもの姿が浮かび上がりました。一方で、「眠れない」「暑くて勉強に集中できない」など、宿題や勉強を行うためには、空気環境が大きな影響を与えている実態も明らかになりました。

「空気おいしいと感じるのは？」という問いに対して、子ども達が答えた「山」や「キャンプ」といった“自然の空気”は、まさに当社が追求しつづけたいと考える空気質の理想形でもあります。

ダイキン工業は、総合空調メーカーとして、エアコンと上手にお付き合いいただく方法をご提案するだけでなく、今後もより自然で快適な空気環境のご提供をしていきたいと思っております。

※本調査の詳細につきましては、「総合報告書」もあわせてご覧ください。

●この件に関するお問い合わせ先
ダイキン工業株式会社 広報部

【本社】〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル)
TEL (06)6373-4348(ダイヤルイン) / FAX (06)6373-4330

【東京支社】〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号(JR品川イーストビル)
TEL (03)6716-0112(ダイヤルイン) / FAX (03)6716-0200

※空気の調査ライブラリー「空気の快適デザインブック」アドレス <<http://www.daikin.co.jp/kuuki/>>